

## 教科【 公 民 科 】 シラバス

科 目	現代社会	単 位 数	4	履修形態	クラス単位
教科書・副教材 清水書院 「新現代社会」			学年・学級	第2学年必修	

### 1 学習のねらい（科目の年間を通した大まかなねらい・めあて）

<p>1 中学校で学習したことをもとに、広い視野に立って現代の社会の出来事や社会のしくみ、政治、経済、国際関係などを学習します。</p> <p>2 社会のさまざまな問題を理解して、人間としての在り方や生き方などを考える力を養います。</p> <p>3 世界の平和やより良い社会生活が行われるために、自分にはどんなことができるかを考え、それを実行する態度を身につけます。</p>
--

### 2 学習計画・評価方法等

#### (1) 学習計画等

月	学 習 の 内 容	学 習 の ね ら い	達成度(自己評価)
4	現代社会と青年 1 青年期の意義と課題 青年期とは何か 現代社会の中の青年 働くこと、社会と関わること 2 現代社会の特質 大衆社会をどう生きるか 情報化社会の恩恵と落とし穴 国際化の現状と異文化の共存	自分たちの時代「青年期」の心理、意義、課題について考え、理解することができる。 「働くこと」「社会」などについて理解を深める  現代社会の特徴である「大衆化社会」「情報化社会」「国際化社会」について理解し、その中で生きていくためには、どうしたらよいかを考える。  国際化社会に対応するために、生活に密接する「宗教」について理解し、世界の人々の生活について考える。  日本の伝統文化を理解し継承する態度を身につける。	
5	3 宗教と人々の生活 日常生活と宗教 世界三大宗教 宗教とは何か 日本の文化と伝統 民主社会と日本の政治	日本国憲法の三原則について理解する。 日本国憲法で保障されている人権について考えそれを大切にしようとする態度を身につける。  平和憲法について理解し、その中で日本の役割を考える。  人権学習から自分の考えをまとめることができる。	
6	1 日本国憲法の原則 人権の保障を定める憲法 日本国憲法の制定と基本原則 平和主義と日本の安全 自由権の保障 平等権の保障 社会権の保障 広がっていく人権 人権を守る裁判所		
7	2 人権に関わる国際経済の課題 3 差別から共生へ		
1 学期の評価方法 中間テスト、期末テストを基本に、ノート・プリント、課題の提出状況、1時間ごとの授業中の態度、各時間の復習としての小テストなどを総合的に判断し、点数化して成績を出す。			

月	学 習 の 内 容	学 習 の ね ら い	達成度(自己評価)
8 9 10	<p>人権教育のまとめ 民主社会と日本の政治</p> <p>1 日本の政治のしくみ 国の政治をきめる国会 日本の政治を行う内閣 私達の代表を選ぶ選挙と政党 国政を実行する官庁 地方の政治は地方が行う</p>	<p>夏休みの課題の「人権作文」の復習をする。</p> <p>国会、内閣、裁判所、選挙制度、政党、地方行政の基本的なしくみについて理解することができる。</p>	
11	<p>地球環境問題 オゾン層破壊 酸性雨 熱帯林の減少 砂漠化 二酸化炭素の排出 土壌汚染 大気汚染 問題解決に向けての取り組み 私達にできること 資源と食料 豊かな暮らしを支える資源と食料</p>	<p>世界を取り巻く様々な環境問題について理解し、その解決に向けて自分のできることを考える。</p> <p>資源と食料の重要性を理解し、それが日本はどのようにして、得ているのかを考える。自分たちの生活で改善できることについて考え、行動する態度を身につける。</p>	
12	<p>外国に依存する日本の豊かさ 世界の資源問題 食料と人口 ライフスタイルを見直す</p>	<p>環境、資源、食料などの問題を重要視し、自分の考えをレポートとしてまとめることができる。</p>	
<p>2学期の評価方法 夏休み人権作文 環境問題・資源食糧問題のレポート、中間テスト、期末テストを基本に、ノート・プリント、課題の提出状況、1時間ごとの授業中の態度、各時間の復習としての小テストなどを総合的に判断し、点数化して成績を出す。</p>			

月	学 習 の 内 容	学 習 の ね ら い	達成度(自己評価)
1	<p>経済のしくみと日本経済</p> <p>1 経済のしくみ 資本主義経済と市場のしくみ 資本主義経済の変容 企業のしくみとその展開 貨幣の役割と金融のしくみ 政府の経済活動、財政 国民経済と国の豊かさ 国際通貨制度と為替相場</p>	<p>経済の基本として、市場、企業、金融のしくみについて理解する。</p> <p>貨幣の役割とお金の流れについて理解し、良い消費者になるための基本的な態度を身につける。</p>	
2	<p>2 日本経済の現状と課題 労働問題と労働に関する法律 雇用のあり方が変化する 社会保障の意義と課題 公害を防ぎ、環境を守る 消費を巡って起きる問題</p>	<p>労働と雇用、社会保障、公害等の問題について理解する。</p>	

月	学 習 の 内 容	学 習 の ね ら い	達成度(自己評価)
3	平和で豊かな社会を目指して 地域紛争と民族問題 核兵器と軍備縮小 国際平和と日本の安全保障	世界で起きている様々な問題について知り 平和な世界を作るための日本の役割について 考える。	
3学期の評価方法 冬休みの課題として時事問題を新聞から選びレポートを提出するが、それも成績に関係する。 学年末テストを基本に、ノート・プリント、課題の提出状況、1時間ごとの授業中の態度、各時間の復習としての小テストなどを総合的に判断し、点数化して成績を出す。			
年間の評価方法 第1学期の成績、第2学期の成績そして第3学期の成績を総合し、年間の学習成績とする。			

確かな学力を身につけるために	<p>日頃から社会の出来事や問題に関心を持ち、新聞やニュースを見る習慣を身につける。</p> <p>社会の問題を自分なりに調べ、解決をしようと考えようように努力してほしい</p> <p>今日の学習の復習として、毎時間の終わり(場合によっては次の時間のはじめ)に小テストを実施するので、それをしっかりと受ける。</p>
----------------	--

授業を受けるに当たって	<p>休み時間の中に、教科書などの学習用具を用意し、始業のチャイムが鳴ったら、静かに着席をして教師を待っていてほしい。</p> <p>黒板に書かれたことはもちろん、それ以外のこともメモを取り、集中して学習する習慣をつける。</p> <p>授業中の態度や参加状況も成績の中に含まれるのでまじめな授業態度でのぞむようにする。</p> <p>課題、レポート、プリントなどの提出をする場合は必ず提出期限を守ること。遅れたり、提出されない場合は大きく減点されてしまう。</p> <p>小テストも成績の中に含まれているし、学習をより理解することに利用して確実な知識としてほしい。</p>
-------------	---

(2) 評価の観点・内容、評価方法

評価の観点	評価の内容	評価方法
関心・意欲・態度	<p>社会の出来事や問題に関心が高いか。</p> <p>自分から積極的に学ぼうとし、課題を探求しようとしているか。</p> <p>自分たちの生活をしっかりとらえより良いものへ改善しようとする態度や意見が見られるか。</p>	<p>学習活動へのとりくみ</p> <p>授業中の態度</p> <p>ワークシートのとりくみと内容</p> <p>ノートの内容</p> <p>課題、プリントなどの提出状況と内容</p>

<p>思考・判断</p>	<p>社会での出来事を広い視野に立って考え、いろいろな立場や考え方があり、それぞれ公正に判断しようとしているか。 自分がどのようなすじみちで考えたのかを理解し、反省や思考を繰り返し判断しているか。</p>	<p>課題やレポートの内容 ワークシートの内容 中間テスト・期末テスト 授業での質問や発言</p>
<p>技能・表現</p>	<p>統計や資料を性格に読みとることができているか。 自分の考えや意見を正確に伝え表現することができるか。</p>	<p>中間テスト・期末テスト 課題レポートと内容 授業での質問や発言</p>
<p>知識・理解</p>	<p>社会の出来事についての基本的な問題、社会のしくみなどをよく理解し記憶しているか 現代社会の問題はいろいろなことが混じり合っていることを理解しているか。</p>	<p>中間試験・期末試験 小テスト 課題プリントの内容 授業での質問や発言</p>

(3) 担当者からのメッセージ

現代社会は今の時代に起こっている出来事、社会のしくみなどを学習し、皆さんの生活に直接関わることが多くあります。高校を卒業して、「えっ・・・あなたこんなことも知らないの」と周りの人から見られたり、恥をかかないためにもしっかりと学習し、自分の知識として利用できるようにしていきましょう。疑問などは、どんどん質問してください。一緒に楽しく学習しましょう。